

介護用繊維製品プロジェクトの取組み

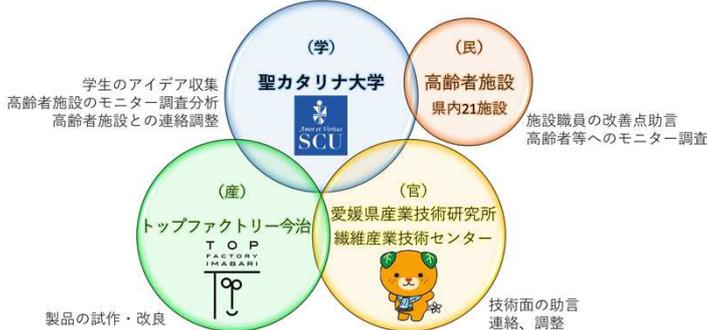
(R1~2)

愛媛県産業技術研究所 繊維産業技術センター 主任研究員 小平 琢磨

高齢者等の生活の質（QOL）向上を目的に、介護用の繊維製品を開発するため、2019~2020年度にかけて産学官が連携し、高齢者施設の意見を取り入れながら商品開発に取り組みました。

プロジェクト体制及び役割分担

企業+大学+公設試+高齢者施設が連携して実施した

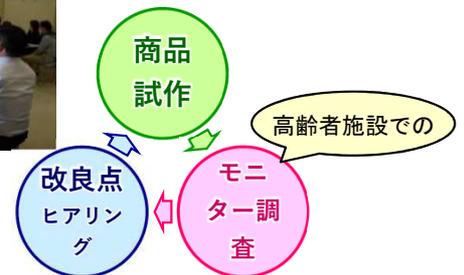


商品改良プロセス

商品改良のため、試作→高齢者施設によるモニター調査→施設職員から改良点ヒアリングを3回繰り返し実施した



ヒアリング風景



介護用エプロン

- ＜既製品の不満・問題点＞
- ✓ 食べこぼし用のエプロンで介護されている印象を抱く
 - ✓ プラスチック素材のため、首回りがチクチクして痛い
 - ✓ はじいた水分で床が濡れる



タオル素材でこれらの不満や問題点に対応したエプロンを開発！



介護用ボディタオル

- ＜既製品の問題点＞
- ✓ 化学繊維素材のものは施設利用者の弱い肌を傷つけてしまう
 - ✓ タオルの幅がやや小さく、爪で引っ掻いてしまう



タオル素材でこれらの問題点に対応したボディタオルを開発！



マスコミ発表会

2021年2月17日 聖カタリナ大学

学生が実演を交えながら商品の特徴を説明した
当日夕方のニュースや翌日朝刊でも取り上げられた



展示販売会

2021年2月28日 エミフルMASAKI

企業と大学が共同で展示販売会を実施した
高齢者施設への物品納入業者からの問合せもあった



産学官が連携し、高齢者施設の意見を取り入れながら商品開発に取り組んだ結果、ガーゼ織を用いた2種類の介護用繊維製品を商品化することができました。これらの商品が高齢者の快適な生活に貢献することを期待しています。

本研究は、産学官連携「介護用繊維製品プロジェクト」により実施しました。
(共同研究先 (株)トップファクトリー今治・聖カタリナ大学)